

コンプライアンス、知的財産

コンプライアンス体制

方針 コンプライアンス意識の徹底と不正を許さない職場環境の醸成

コンプライアンス意識の徹底を醸成するため、法令、社内規範、倫理規範の遵守を目的とした体制の整備や各種プログラムに取り組んでいます。

コンプライアンス委員会

社長を委員長とするコンプライアンス委員会を年4回開催しました。社外取締役、顧問弁護士も参加し、年間活動計画の承認と実施報告、従業員のコンプライアンス違反や内部通報案件への対応報告等を適正に実施しています。

THKグループヘルプライン制度（内部通報制度）

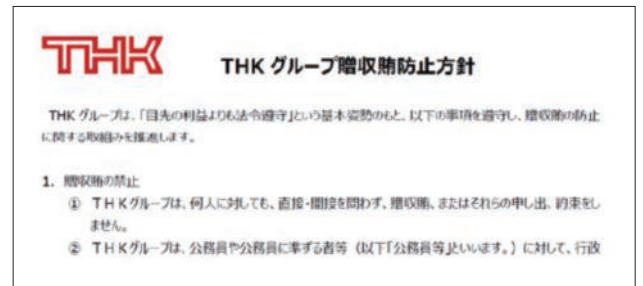
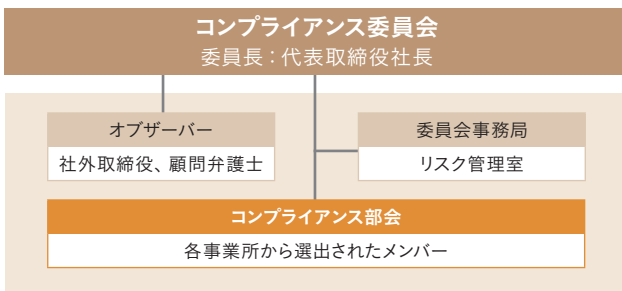
従業員のコンプライアンス違反を防止し、万一違反が発生した場合でも早期に適切な措置を施すことを目的として、内部通報制度「THKグループヘルプライン」を開設しています。通報窓口は、社内に2箇所（リスク

管理室、監査等委員会）、社外に1箇所（顧問弁護士）設けています。匿名による通報も可能であり、通報内容に関する守秘義務や通報を理由とした不利益取り扱いの禁止等を定めた規程を誠実に運用しています。2021年度は14件の通報を受け付け、関係部門と連携し、適切に対応しています。

THKグループ贈収賄防止方針の制定

当社グループでは従来から「THKグループ行動憲章」等に基づき贈収賄の防止に努めています。しかし、昨今の急速な外国公務員贈賄を含む腐敗問題に対する世界的な意識の高まり、また当社が2020年に署名した国連グローバルコンパクトに定められている「腐敗防止」を受け、贈収賄の防止に関する取り組みの推進に向けた「THKグループ贈収賄防止方針」を12月に制定しました。

コンプライアンス体制図



「THKグループ贈収賄防止方針」一部抜粋

知的財産

方針 独創的な製品を通じて豊かな社会作りに貢献し続けるため、知的財産を尊重し、自社の知的財産の創造と活用を推進する

今期はDX戦略商品 **OMNI edge** に代表される新規事業に対応した研究、開発が活発に推進されていく中で、適切に知財を保全し、各事業戦略に沿った権利取得や各種調査分析を推進してきました。また、近年増加している模倣品や当社ブランドの不正利用に対処するため、水際対策として税関での不正商品の差し

止め、グローバルでの一層の権利拡充や不正使用を目的とした権利取得の阻止といった対策を継続的に実施しました。

来期以降も引き続き知財投資の観点から新規事業を含めた知財権を拡充するとともに、当社ブランドの保全、強化を実施していきます。